

第 37 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会（部会③）

開催記録

1 開催概要

- 日 時：令和 5 年 11 月 1 日（水）10：00 ～ 12：00
- 場 所：JR 東日本現地会議室
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	・ 谷川 章雄氏（早稲田大学 人間科学学術院 教授）
委員	・ 老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） ・ 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・ 古関 潤一氏（ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー）
オブザーバー	・ 文化庁文化財第二課 史跡部門 ・ 港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・ 港区 街づくり支援部 ・ 東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・ 鉄道博物館 学芸部 ・ JR 東日本コンサルタンツ株式会社 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部
事務局 東日本旅客鉄道(株)	・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部
サポート	・ パシフィックコンサルタンツ株式会社

■ 当日配布資料

1) 議事録確認

- ・ 次第
- ・ 資料 1：第 35 回委員会（9/6）部会③議事録案
- ・ 資料 2：第 36 回委員会（10/4）全体会議事録案
- ・ 資料 3：第 36 回委員会（10/4）部会①議事録案
- ・ 資料 4：第 36 回委員会（10/4）部会②議事録案
- ・ 資料 5：第 36 回委員会（10/4）部会③議事録案

2) 部会③

- ・ 次第

- ・ 資料 1：試掘調査の状況について

2 議事要旨

2.1 議事録確認

(1) 開会

- 第 37 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。(事務局)

(2) 議事録確認

1) 第 35 回委員会 (9/6) 部会③の議事録 (修正箇所) 確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2) 第 36 回委員会 (10/4) 全体会の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

3) 第 36 回委員会 (10/4) 部会①の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

4) 第 36 回委員会 (10/4) 部会②の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

5) 第 36 回委員会 (10/4) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2.2 部会③

(1) 開会

- 第 37 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会③を開会する。(事務局)

(2) 試掘調査の状況について

- 資料 1 について説明する。(港区)
- 試掘方針について示していただき感謝する。港区と調整しながら丁寧に調査を進めていく。(JR)
- 今後の工事について 2025 年春に山手線と京浜東北線の線路を切換える工事を考えており、雑魚場架道橋の工事が関わってくる。1 年以上前に日程を決めて関係者調整を行い輸送対策を考えなければならず、工程が厳しい状況であることのご理解をいただきな

がら、引き続き、ご指導いただきたい。(JR)

- 図示していないが、資料 1-2 で、薩摩台場内外のボーリング箇所というので、2箇所、緑の点を示している。そのうちの薩摩台場内でボーリングをすることになっている左側の地点のすぐ近くで実施するものが想定のものである。(港区)
- 隣に鉄道が走る状況下での試掘調査になるため、夜間調査になる。事業者をはじめ関係者に迷惑をかける状況だが、薩摩台場に関してはなにもわかっていない状況なので、しかるべき調査を行い、速やかに検討を進めたい。(委員長)

(3) その他

- 前回委員会でも報告したが、4 箇所の発見箇所が 10 月 3 日付で埋蔵文化財包蔵地に追加された。東京都遺跡地図情報インターネット提供サービスにおいて 11 月 1 日に更新し、その4箇所が高輪築堤跡として閲覧できるようになったことを報告する。(東京都)

＜部会①・部会②・部会③終了後＞

- 最後に文化財行政からコメントをもらう。
 - ← 部会①は東京都に発掘調査成果をまとめてもらい有難い。まとめてもらった内容を早めに公開できるようにしてもらいたい。部会②についても早めに協議に入ってもらいたい。部会③は薩摩藩は鉄道を作るのを邪魔したとも言われているが、それとは逆の存在であるとも言える薩摩台場について引き続き調査検討をしてもらいたい。(文化庁)
 - ← 発見された遺構の現地保存などの検討に感謝する。今後も調査が続くが文化財保護法に則って発見届等の手続きを遅滞なく行ってもらいたい。引き続き港区と共に周知化を進めるので、協力をお願いする。(東京都)
 - ← 少しずつ高輪築堤の様相が分かってきたと認識しており、こうした成果の積み重ねが今後につながる。夜間調査の立ち合いもあり厳しい状況だが、引き続き協力して進める。(港区)

(4) 閉会

- 次回委員会は 12 月 6 日(水) 10 時 00 分より、会場は TKP ガーデンシティプレミアム品川高輪口 3F ホール C での開催を予定する。本日はこれで閉会とする。(事務局)

3 議事録

3.1 議事録確認

(1) 開会

- (事務局) 第 37 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会します。
- ・ 挨拶
 - ・ 資料確認
 - ・ オンラインの案内
 - ・ 次第説明

(2) 議事録確認

- (事務局) 5 つの議事録について、修正等があれば委員会終了までに連絡をいただきたい。
- (事務局) 資料 1 については前回の修正の確認となる。修正箇所を説明する。
- (事務局) 意見がなければ、議事録確認を終了する。

3.2 部会③

(1) 開会

- (委員長) 次第に沿って進める。

(2) 試掘調査について

- (港区) 資料 1 について説明する。
- (委員長) 説明に対して質問、意見はあるか。
- (JR) 試掘調査の方針について示していただき感謝する。港区と調整しながら丁寧に調査を進めていく。来月速報を報告できればと思う。1 点、今後の工事について、2025 年春に山手線と京浜東北線の線路を切換える工事を考えており、雑魚場架道橋の工事が関わってくる。1 年以上前に日程を決めて関係者調整を行い輸送対策を考えなければならない。我々も工程短縮、工程確保を考えていくが、厳しい状況であることをご理解いただきながら、引き続き、ご指導いただきたい。
- (港区) 資料 1-2 で、図示していないが、薩摩台場内外のボーリング箇所というので、2箇所、緑の点を示している。そのうちの薩摩台場内でボーリングをすることになっている左側の地点のすぐ近くで実施するものが想定のものである。

(委員長) 隣に鉄道が走る状況下での試掘調査になるため、夜間調査になる。事業者をはじめ関係者に迷惑をかける状況であるが、薩摩台場に関しては全く分かっていない状況なので、しかるべき調査を行い、速やかに検討を進めたい。

(3) その他

(委員長) その他なにかあるか。

(東京都) 前回委員会でも報告したが、4箇所の発見箇所が10月3日付で埋蔵文化財包蔵地に追加された。11月1日に、東京都遺跡地図情報インターネット提供サービスを更新し、その4箇所が高輪築堤跡として閲覧できるようになっていることを報告する。

(委員長) 特になければ部会③を閉会する。

<部会①・部会②・部会③終了後>

(委員長) 最後に文化財行政からコメントをもらう。

(文化庁) 部会①については、東京都に発掘調査成果をまとめてもらい有難い。まとめてもらった内容を早めに公開できるようにしてもらいたい。部会②についても、今後について協議に早めに入ってもらえればと思う。部会③については、薩摩藩は鉄道を作るのを邪魔したとも言われているが、それとは逆の存在であるとも言える薩摩台場について引き続き調査検討をしてもらいたい。

(東京都) 発見された遺構について、現地保存などの検討に感謝する。今後も調査が続くが文化財保護法に則って発見届等の手続きを遅滞なく行ってもらいたい。引き続き港区と共に周知化の手続きを進めていくので、今後も協力をお願いしたい。

(港区) 図書文化財課長が欠席のため代理となる。少しずつ高輪築堤の様相がわかってきたと認識しており、こうした成果の積み重ねが今後につながる。夜間調査も立ち合いがあり、厳しい状況だが、引き続き協力して進めていければと思う。

(4) 閉会

(事務局) 次回の定例委員会は、12月6日(水)10時00分からを予定し、会場はTKP ガーデンシティプレミアム品川高輪口3F ホールCを予定する。本日はお忙しい中貴重なご意見をありがとうございました。閉会とする。

以上